



天沼保育園
クラスだより
9月号

日中は夏と変わらない暑い日が続きますが、日が落ちるのが少しずつ早くなってきました。子どもたちと秋ならではの自然や味覚に触れる体験を楽しんでいきたいと思います。

子どもたちの姿

日々の生活の中で友達を意識する姿が増えてきました。同じことをやりたがったり、一緒に悪戯をしてみたりと楽しさや面白さを共有する反面、玩具や場所を取り合う様子なども見られます。周りの状況が分かってきた成長の姿でもありますね。大人から見ると同じ玩具でも、なぜか友達が持っている玩具が良かったり、わざわざ子どもが集まっている狭い場所に入って行って怒ったりとそんな時期なのだなと思いながら受け止めています。そういった場面では「これが使いたかったね」と気持ちを受け止め、「かしてだったね」などの言葉を添えながら何と言ったら良いか、どう関わったら良いかを伝えるようにしています。また、「かして」と言われたら、絶対に貸さなきゃいけないということではなく「待っててね」「順番だね」といった場面もあります。なかなか納得できなかつたり、1度では伝わらなかつたりしますが、「いずれ分かる時がくる」と子どもの成長を信じながら伝え続けることが大切だと感じています。集団生活の中でのそれぞれの思いに寄り添いながら、心地よい関わりを伝えていけたらと思います。



衣服について

着替えを「自分でやりたい」という気持ちが育ってきている子どもの姿が見られます。
子どもの気持ちに寄り添うにあたって、以下の衣服はご遠慮いただきたく思います。

- ・華美な装飾のあるもの(過度なひらひら、ビーズ、スパンコールなど)
- ・Tシャツ、ズボンともに丈の長いもの、短すぎるもの
(滑って転倒しやすくなってしまうため、長いズボンは折るか裾上げをお願いします。)
- ・フード、紐、ベルトのついたもの
- ・後ろボタンのもの

服装に迷った際には「子どもが自分で着脱しやすいもの」「遊びの際に安全であるもの」を基準にお願いします。

誤飲や遊具に引っかかるなど危険からお子様を守るためにもご理解とご協力をお願いいたします。